

2 今後の国際連携について

- ・ オンラインでの海外調査
⇒ 一部デジタル化への対応と関係あり
- ・ 海外研究グループにおける活動の一環としての執筆
⇒ 人工知能（AI）等
- ・ 日本からの発信：ジャパニーズ・エシカル消費、日本における消費者市民社会の構築